

第39回大阪市立大学緩和医療研究会

放射線治療にできること

—緩和ケア領域における放射線腫瘍医の役割—

放射線治療はがんを治すためだけでなく症状緩和のために様々な場面で行われます。手術や化学療法などに比べ患者負担も軽微で臨機応変な対応も可能な優れた治療です。しかし万人にその有用性が知られているとは言えません。この度放射線腫瘍学教授の澁谷 景子先生にお話しいただける機会をいただきました。皆様のご参加をお待ちしております。

日時：2020年3月3日（火） 17：30～18：30

場所：大阪市立大学医学部附属病院 5階 講堂

対象：医療従事者

【講演】

**座長 大阪市立大学医学部附属病院 緩和ケアチーム
中尾 吉孝 先生**

**演者 大阪市立大学大学院医学研究科 放射線腫瘍学
澁谷 景子 先生**

共催

大阪市立大学医学部附属病院 緩和ケアチーム

大阪市立大学大学院医学研究科 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン運営委員会

ホームページ <http://www.med.osaka-cu.ac.jp/ganpro/>